



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 EIZO株式会社

コード番号 6737 URL <https://www.eizo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 恵比寿 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理部長 兼 IR室長 (氏名) 有生 学 TEL 076-275-4121

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	58,127	△0.1	2,168	△15.3	2,998	△34.0	1,993	△46.7
2024年3月期第3四半期	58,161	1.8	2,559	△5.3	4,544	27.0	3,740	△4.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,370百万円 (△85.3%) 2024年3月期第3四半期 9,298百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	48.44	-
2024年3月期第3四半期	90.90	-

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	160,240	126,607	79.0	3,076.09
2024年3月期	164,819	129,424	78.5	3,145.04

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 126,607百万円 2024年3月期 129,424百万円

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	100.00	-	100.00	200.00
2025年3月期	-	105.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	52.50	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期（予想）の1株当たりの期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」と記載しております。当該株式分割を考慮しない場合の2025年3月期（予想）の1株当たりの期末配当金は105円00銭、年間配当金は210円00銭となります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	0.7	4,000	2.3	4,800	△24.1	3,400	△37.7	82.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 2025年3月期（予想）における通期の1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、165円22銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) EIZO Middle East Ltd.、除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、(添付資料) 8ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲の変更)」
をご参照ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	43,962,320株	2024年3月期	43,962,320株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,803,674株	2024年3月期	2,810,508株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	41,155,937株	2024年3月期3Q	41,149,151株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで本日 (2025年1月31日) 開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の変更)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
3. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧米における高い金利水準の継続やエネルギー価格の高止まりなどにより依然として先行きが不透明な状況が続いております。特に当社の主要市場である欧州では製造業の低迷が長期化しており、中国においても景気は弱含んでおります。

当社グループは、映像技術を核とした顧客のニーズに応じた最適な映像環境ソリューションを提供する「Visual Technology Company」として、世界トップレベルの高品質かつ信頼性の高い映像製品の提供、システムソリューションの提案を行っております。

2024年度を初年度とする第8次中期経営計画では、「Visual Technology Evolution ～EIZOにしかできない映像価値を～」の方針の下、ハードウェアとソフトウェアの両面からEIZOにしかできない「映像」の価値をさらに高め、持続可能な社会の実現に向けた取組みをさらに推進するとともに、事業領域の拡大を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高は58,127百万円（前年同期比0.1%減）と前年同期並みとなりました。B&P (Business & Plus) 市場向けは、欧州でのIT投資の先送りの影響による低調な販売は続いておりますが、国内外での新規案件の獲得等もあり前年同期と比べ売上高は増加しました。ヘルスケア市場向けは、設備導入の先送りや市場における在庫調整の影響が継続しており、販売は減少しました。V&S (Vertical & Specific) 市場向けは航空管制用途やディフェンス用途向け等で販売が増加しました。アミューズメント市場向けは、人気機種の販売があった前年同期を下回る売上高となりました。

利益面は、V&S市場向けなどの高付加価値製品の販売が増加し、売上総利益は19,193百万円（前年同期比2.5%増）、売上総利益率は33.0%（同0.8ポイント上昇）となりました。また、販売費及び一般管理費は、賃上げ等による人件費の増加、研究開発活動の強化等により17,024百万円（前年同期比5.4%増）となりました。その結果、営業利益は2,168百万円（同15.3%減）、経常利益は前年同期に為替差益を計上した一方で当期は為替差損を計上したこと等により前年同期比で減少し2,998百万円（同34.0%減）となりました。経常利益の減益に加え、前年同期に投資有価証券売却益1,127百万円を計上した一方で当期は特別損益の計上がなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,993百万円（同46.7%減）となりました。

市場別の売上高は次のとおりです。

[B&P (Business & Plus)]

売上高は、11,507百万円（前年同期比6.1%増）となりました。主要市場である欧州においてIT投資の先送りの影響が続いており販売の水準は依然として低いものの、国内外での新規案件の獲得等もあり売上高は前年同期を上回りました。

[ヘルスケア]

売上高は、23,974百万円（前年同期比8.5%減）となりました。北米や欧州では設備導入の先送りや在庫調整の状況が上期から続いていることに加え、中国では景気弱含みの影響を受け販売は低調に推移しました。日本ではモダリティ用途や内視鏡用途での販売が減少しました。

[クリエイティブワーク]

売上高は、4,277百万円（前年同期比3.6%減）となりました。米ハリウッドの投資回復とともに全世界の映像制作市場においても投資回復の兆しが見られるものの、販売は低調に推移しました。

[V&S (Vertical & Specific)]

売上高は、9,067百万円（前年同期比28.5%増）となりました。航空管制用途向けはコロナ禍の影響で後ろ倒しとなっていた需要が回復し販売が伸張しました。船舶用途向けは新規造船向けでの需要等により販売は好調に推移しました。監視用途向けでは主に欧州や中国等で販売が伸びました。ディフェンス用途向けは北米で販売が増加しました。その他産業用途向けは、需要の回復とともに欧州、日本で販売が増加しました。

[アミューズメント]

売上高は、4,775百万円（前年同期比15.6%減）となりました。人気機種の販売があった前年同期を下回る売上高となりました。当業界を取り巻く市場環境は、遊技人口の減少と店舗数の減少等により業界全体の規模縮小が進んでおり、厳しい状況が継続しております。

[その他]

売上高は、4,523百万円（前年同期比14.3%増）となりました。アミューズメント用ソフトウェア受託開発の売上高が増加したことによるものです。

(単位：百万円)

市場	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)		増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	増減率 (%)
B&P (Business & Plus)	10,846	18.7	11,507	19.8	661	6.1
ヘルスケア	26,198	45.0	23,974	41.2	△2,223	△8.5
クリエイティブワーク	4,438	7.6	4,277	7.4	△160	△3.6
V&S (Vertical & Specific)	7,058	12.1	9,067	15.6	2,009	28.5
アミューズメント	5,659	9.7	4,775	8.2	△884	△15.6
その他	3,958	6.9	4,523	7.8	564	14.3
合計	58,161	100.0	58,127	100.0	△33	△0.1

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は新技術棟の建設により建設仮勘定が増加した一方、棚卸資産が減少したこと等により4,579百万円減少し160,240百万円、負債の部は未払法人税の減少等により1,763百万円減少し33,632百万円となりました。純資産の部は剰余金の配当等により2,816百万円減少し126,607百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月31日の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,418	17,992
受取手形、売掛金及び契約資産	19,110	16,779
電子記録債権	2,112	2,140
商品及び製品	16,318	18,775
仕掛品	2,100	1,873
原材料及び貯蔵品	25,116	18,545
その他	1,362	1,706
貸倒引当金	△113	△113
流動資産合計	82,425	77,699
固定資産		
有形固定資産	22,685	24,480
無形固定資産	895	1,140
投資その他の資産		
投資有価証券	57,937	55,986
退職給付に係る資産	72	61
その他	803	871
投資その他の資産合計	58,813	56,919
固定資産合計	82,394	82,540
資産合計	164,819	160,240
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,600	4,593
短期借入金	4,897	4,947
未払法人税等	1,347	110
賞与引当金	1,689	1,089
製品保証引当金	1,972	1,824
その他	5,499	4,974
流動負債合計	19,006	17,539
固定負債		
長期借入金	897	783
役員退職慰労引当金	71	71
リサイクル費用引当金	526	464
退職給付に係る負債	2,369	2,276
その他	12,523	12,496
固定負債合計	16,388	16,092
負債合計	35,395	33,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,425	4,425
資本剰余金	4,320	4,326
利益剰余金	85,956	83,746
自己株式	△3,988	△3,979
株主資本合計	90,714	88,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,916	31,597
為替換算調整勘定	5,138	5,923
退職給付に係る調整累計額	655	565
その他の包括利益累計額合計	38,709	38,087
純資産合計	129,424	126,607
負債純資産合計	164,819	160,240

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
売上高	58,161	58,127
売上原価	39,443	38,934
売上総利益	18,717	19,193
販売費及び一般管理費	16,158	17,024
営業利益	2,559	2,168
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	1,090	1,206
為替差益	683	—
その他	327	278
営業外収益合計	2,117	1,496
営業外費用		
支払利息	68	224
為替差損	—	371
不動産賃貸費用	53	54
その他	10	15
営業外費用合計	132	666
経常利益	4,544	2,998
特別利益		
投資有価証券売却益	※1 1,127	—
特別利益合計	1,127	—
特別損失		
固定資産除却損	※2 187	—
特別損失合計	187	—
税金等調整前四半期純利益	5,483	2,998
法人税、住民税及び事業税	1,884	652
法人税等調整額	△141	352
法人税等合計	1,743	1,004
四半期純利益	3,740	1,993
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,740	1,993

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,740	1,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,130	△1,318
為替換算調整勘定	1,545	785
退職給付に係る調整額	△117	△89
その他の包括利益合計	5,558	△622
四半期包括利益	9,298	1,370
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,298	1,370
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間において、EIZO Middle East Ltd. を新たに設立したため、連結の範囲に含めておりません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第3四半期連結累計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

※1 投資有価証券売却益

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社が保有する投資有価証券のうち国内上場株式1銘柄を売却したことによるものです。

※2 固定資産除却損の内容は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
解体撤去費用	175百万円	—百万円
建物及び構築物	12	—
合計	187	—

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年 4月 1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,966百万円	2,119百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

当社グループは、映像機器及びその関連製品の開発・生産・販売が主であり、実質的に単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を行っておりません。

3. 補足情報

(市場区分について)

区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途 (タッチモニター含む)
アミューズメント	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他	保守サービス及びソフトウェアの受託開発